

高木さん、ごめんなさい

保育園児の私は高木さんのことを『おにいちゃんお母さん』と呼んでいました。高木さんはすごく優しく、保育園児の私と手紙のやり取りなどをしていました。そして、私が年長の時に病気で亡くなりました。

その時の手紙を読むと、「お父さんとお母さんを守ってあげてね」と書かれていて、今思えば、もと話していたらよかったなと思います。だから『おにいちゃんお母さん』、ごめんなさい。

